

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●藤田菜七子騎手がJRA通算100勝を達成

4月25日(土)の1回福島5日・第1レースではシルバージャックが1着となり、同馬に騎乗した藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)は、現役95人目、女性騎手では初めてとなるJRA通算100勝(2150戦目)を達成しました。

●秋山真一郎騎手がJRA通算1000勝を達成

4月25日(土)の1回福島5日・第10レースとして行われた尾瀬特別ではスマートランウェイが1着となり、同馬に騎乗した秋山真一郎騎手(栗東・フリー)は、史上38人目、現役では20人目となるJRA通算1000勝(1万2505戦目)を達成しました。

●和田竜二騎手がJRA通算1300勝を達成

4月26日(日)の1回福島6日・第6レースではバビットが1着となり、同馬に騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、史上24人目、現役では11人目となるJRA通算1300勝(1万7896戦目)を達成しました。

●奥村豊調教師がJRA通算100勝を達成

4月26日(日)の3回京都2日・第10レースとして行われた桃山Sではロードプレスが1着となり、同馬を管理する奥村豊調教師(栗東)は、現役148人目となるJRA通算100勝(延べ1347頭目)を達成しました。

●1日5本の単勝万馬券と4本の3連単100万馬券が飛び出す

4月25日(土)は、3回京都1日の第1レース、第5レース、第6レース、第11レース・彦根Sと、2回東京1日・第3レースで単勝オッズ100倍以上の馬が勝利しました。1日1場4本および1日5本の単勝万馬券は、従来の1日1場2本、1日3本を更新するJRA最多記録となります。また同日は、福島の第2レースと第11レース・福島牝馬S、東京の第3レースと第8レース、京都の第11レース・彦根S、計5競走で3連単の払戻金が100万円以上となり、こちらも従来の記録である3連単100万馬券1日4本を更新しました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●羽田盃(大井)は川崎のゴールドホイヤー【各地の主要3歳重賞】

羽田盃(4月29日、大井、1800^円)は、2番手を追走した4番人氣のゴールドホイヤー(牡、父トランセンド)が残り200^円を切った辺りで差し切り、雲取賞に続いて重賞2連勝。留守杯日高賞(4月26日、水沢、1600^円、牝馬)は、逃げた浦和からの遠征馬ボンボンシヨコラ(父ノーザンリバー)が後続に2馬身差を付け、単勝1.4倍の支持に応じてJRA(1勝)から移籍後の初勝利を収めています。

●5月5日のかしわ記念(船橋)でルヴァンスレーヴが戦列復帰

かしわ記念(Jpn I、5月5日、船橋、1600^円)は、実績最上位のルヴァンスレーヴが1年5か月ぶりの出走となるため、状態面が焦点となり、他ではモズアスコット、ケイティブレイブ、サンライズノヴァ、アルクトス、ワイドファラオの順に有力視されます。

●5月6日の兵庫チャンピオンシップはバーナードループが有望

兵庫チャンピオンシップ(Jpn II、3歳、5月6日、園田、1870^円)は、バーナードループが筆頭格、以下サンデーミラージュ、ダノンファラオ、マカオンブランが差なく続き、ヒルノマリブは初のダートが課題となります。

●黒船賞馬ラブタスらが出走、5月4日のかきつばた記念(名古屋)

かきつばた記念(Jpn III、5月4日、名古屋、1400^円)は、前走の黒船賞を逃げ切ったラブタスが中心、次いでアディラート、ノボカ、リアンヴェリテ、ドリームドルチェ(浦和)までが争奪圏内と考えられ、他にJRAからはラブカンパーが出走の予定です。

※地方競馬は2月下旬より無観客開催となっておりますが、最新の開催情報については各主催者のホームページ等でご確認ください。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●香港のチャンピオンズデー〜エグザルタントが4つ目のG1制覇

1日で3つのG1をまとめて行う「チャンピオンズデー」が4月26日に香港のシャティン競馬場で無観客、そして地元香港調教馬のみで開催されました。そのメインレースにあたるG1クイーンエリザベスII世C(3歳上、芝2000^円)を制したのはエグザルタント(騾6歳、父テオフィロ、A.クルーズ厩舎)。同厩舎の逃げ馬タイムワープを自ら捉えに行き、残り300^円を前にして先頭に立つと、最後は昨シーズンの香港ダービー馬フローレの追い上げを $\frac{3}{4}$ 馬身差退けて優勝。これで2018年の香港ヴァーズ(芝2400^円)、2019年の香港ゴールドC(芝2000^円)とチャンピオンズ&チャターC(芝2400^円)に続く4つ目のG1制覇となりました。そのほか、G1チャンピオンズマイル(3歳上、芝1600^円)はサザンレジェンド(騾7歳、父ノットアシングルダウト、C.ファウンズ厩舎)が史上初の3連覇を狙ったビューティージェネレーションとの首の上げ下げの大接戦を制して悲願のG1初制覇。G1チェアマンズスプリントブライズ(3歳上、芝1200^円)は中国でレースを進めたミスタースタニング(騾7歳、父エクシードアンドエクセル、F.ロー厩舎)が差し切り勝ち。2018年12月のG1香港スプリント(芝1200^円)以来となる勝利を収めて、引退の花道を飾りました。